

まつお新聞

発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

松尾郷土芸能まつり

八幡町旧街道で松尾の伝統芸能一堂に

郷土芸能を目にする機会を持ちたい——この願いがかない、旧街道が人で埋まった。獅子や屋台、太鼓や笛の音が道いっぱい広がった。

4月13日に八幡町旧街道と八幡宮境内にて、松尾郷土芸能まつりが開催された。上溝囃子屋台保存会・久盛芸能保存会・松流囃子保存



「久盛」を舞う子供たち

会・寺所獅子舞保存会・両壁太鼓・代田獅子囃子保存会・常盤太鼓「心 SHIN」の7団体が初の競演となった。

八幡宮駐車場では、飯田商工会議所松尾支部が豚汁や焼きそばなどを、みなみ信州農業協同組合松尾支所が五平餅や農産物を販売し、親子連れで賑わっていた。出演団体は午後1時から4時までの3時間、7カ所のポイントを移動し演技した。松尾地区郷土芸能まつりの開催は初めての試みとなるため、大勢の人たちが周りを取り囲み見いていた。写真コンテストも行われ、最優秀賞には菅沼春彦さん(上郷黒田)が選ばれた。各賞受賞の写真は、6月末まで公民館ギャラリーにて展示された。

慈光松尾保育園オープン

民営化がスタートしてから3年、慈光松尾保育園の新しい園舎が完成し、3月23・24日には内覧会が行われ松尾地区内外から大勢の人たちが見学に訪れた。

4月3日には開所式、入園式が行われた。

新園舎でまず目を引くのはカラフルなテラス。園児たちが転んでも痛くなさそうな真っ赤なじゅうたんさながらの、衝撃吸収性の弾性舗装と呼ばれる柔らかいアスファルトが下駄箱まで続く。中に入ると今までのコンクリートの園舎とは対照的な、檜をふんだんに使用した室内。木のぬくもりを感じるやさしい雰囲気、階段下や窓屋根など、各所

還暦の会 盛大に行われる

「幾山川越え来たりて今日の笑顔」同じ時代を生きて来たからこそ分かり合えることもある…



「春の丘」を前に中村良一さん

風薫る5月25日、鳩ヶ嶺八幡宮境内に笑顔の熟年男女が集まった。昭和27(早生まれの人は28)年生まれの人たちを迎えた人たちは、一同厳粛なご神前にてお祝いの言葉を述べ、お授けを賜った。晴れ着姿の男女は、とても清々しく、境内の

二股夫婦杉の下で記念写真に納まった。式典はマリエール飯田にて行われ、牧内正(城区)実行委員長、松島夕七子(寺所区)三浦勝(八幡区)副

実行委員長により進行された。「次はリニアを見よう」の牧内委員長の挨拶に続き、還暦の会より同輩で日本画家の仲村良一さんの「春の丘」が公民館に寄贈された。続く祝賀会では、上溝区在住の森田梅泉さんによるフルート演奏が行われ、「なごり雪」など、若き頃を彷彿とさせる調べに参加者らは酔いしれた。懇親の席では、思い思いの席で歓談に花を咲かせた。最後に松尾村歌と故郷の合唱で平穩を願い、会は終了した。

自治振興センター 職員の異動

今年4月の市役所人事異動により、新しく1人が着任しました。

○出納・証明担当 上倉 健太郎

一日でも早く松尾地区の皆様のお役に立てよう努力してまいります。よろしくお願いたします。



○庶務担当 近藤 寿二 (工業課)



新園舎に子供らの笑顔があふれる

創刊以来続く当コラム「松風」との命名は「松尾の風を読む」といった意図からと想像するが、「松風」は茶釜の湯がたぎる音も指す▼松尾は茶に縁のある土地柄である。中世末期の南の原遺跡からは抹茶用の緑釉天目茶碗や茶臼の優品が出土している。庶民への茶の普及も早かった。ここ数年、松尾史学会と公民館の共催で松尾の茶畑で茶葉を摘み「芝茶」を作る講習会が行われているが、講師の松下智氏によれば、畑の周囲に自家用の茶の樹を植え、漬物と共に自前の茶を誰彼なく何杯でももてなすが、かつて当地の習俗だった。他所ではそう気軽に人を請じ入れないし、まして客に出す茶は一煎で仕舞だ▼静岡県掛川市の癌による死亡率が日本一低いのは茶の摂取量が多い故だという。椿にも似た可憐な花を咲かせる茶の樹は垣根として防風林にもなる。根が深く傾斜地にも適す。「八幡宮紅葉ライトアップ」での抹茶の呈茶は、好評である。旧道の犬塚家に残る町家の茶室を修復して、番木村曙月庵のように茶道を通じての児童教育の場に活用できないだろうか▼茶は、人との和みに、健康に、緑化に、そして地域おこしにと、一石三鳥四鳥の可能性を秘める。ラテン語の格言は言う。「勤勉なる農夫は、自らその果実を見ることのない樹を植える」。文化の継承と新たな松尾の伝統の創成である。

平成25年度 松尾地区まちづくり委員会

総会開催される

平成25年度松尾地区まちづくり委員会総会が5月13日、松尾公民館で開催され、平成24年度の事業報告と決算報告、25年度の重点目標、事業計画案、予算案、委員会規約の一部改正について審議が行われた。議案については、本会及び各部から事業報告、事業計画等の説明があり、全ての議案が承認された。



宮下吉彰会長あいさつ

松尾地区では平成23年度から、各種団体を統合して新たなまちづくり委員会をスタートさせました。これまで2年間、活動を進めてまいりましたが、ほぼ当初

の目的に沿った組織体制で、必要な活動ができたものと考えています。ただ、組織は完成ということではなく、これからは必要な修正を図り、より良い組織にしていかなければならないと考えています。さて、去る4月13日に、

初めての取り組みとして、「松尾郷土芸能まつり」を開催しました。これまでそれぞれ保存伝承されていた郷土芸能が、初めて一堂に会して、多くの住民の皆さんの前で披露できたということは、大変意義深いものと考えています。

市全体の話題としては、今年の秋頃にはリニア中央新幹線の駅位置が明らかになると言われています。また、三遠南信自動車道も進んでおり、高速交通網を活用した「リニア時代」に向けた基盤づくりの時期だと

言われています。将来の松尾地区の発展のためにも大切な時期になっていきますので、今まで以上に協力をお願いします。

平成25年度 松尾地区のまちづくり 重点目標

- ◎みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり
 - ・まちづくり委員会を中心とした多様な主体が連携協力した事業の実施
 - ・適切な情報伝達と情報共有による地域活動への参加意識の高揚
 - ・地域の人と資源をいかした元気の出る取り組みの推進
- ◎安心して暮らせる安全なまちづくり
 - ・近隣地区との連携による内水排除対策や防災体制の強化
 - ・秩序あるまちづくりのための土地利用計画及び道路整備計画の策定
 - ・地域安全大会を通じた安心安全な地域づくりの推進
- ◎子どもから高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり
 - ・「地域の子どもは地域で育てる」ための教育支援の推進
 - ・「心のふれあいを求めて」あいさつ・みまもり運動の推進
 - ・「生涯現役」のための健康福祉事業の推進



総会風景

平成25年度

重点事項・活動計画

まちづくり委員会(本会)

- 【重点事項】
- ①グリーンベルトの保全
- ②慈光松尾保育園の跡地利用検討

- ③国道151号線渋滞解消
- ④内水排除対策
- ⑤防災対策の確立
- ⑥おわら風の盆招聘準備

【活動計画】

- ①総会 年2回開催
- ②企画会議 毎月10日開催
- ③推進会議 毎月20日開催
- ④本会事業 学校支援ボランティア事業、やらまいか松尾まちづくり活動助成事業、慈光松尾保育園跡地利用検討
- ⑤その他 研修、近隣地区との交流ほか

平成25年度 役員名簿 (推進会議)

役職名	備考	氏名	地区
会長		宮下吉彰	久井
副会長	毛賀区長	小木曾博人	毛賀
副会長(会計)	水城区長	勝野薫	水城
公民館長		角田禎治	新井
総務部長		山下忠義	八幡町
総務部副部長		秦寿子	八幡町
総務部副部長		市瀬栄	久井
生活安全部長		窪田利光	常盤台
交通安全部長		小池昇	寺所
環境衛生部長		小林弘明	毛賀
健康福祉部長		相原正敏	八幡町
公民館育成部長		矢崎晴美	毛賀
地域振興部	上溝区長	田畑次夫	上溝
地域振興部長	久井区長	岡田明	久井
地域振興部	新井区長	今村健	新井
地域振興部	寺所区長	市瀬登	寺所
地域振興部	明区長	今村洋一	明
地域振興部	清水区長	恩田政雄	清水
地域振興部	城区長	下井敏	城
地域振興部	八幡町区長	永田邦夫	八幡町
地域振興副部長	代田区長	下條啓市	代田
地域振興副部長	常盤台区長	伊藤勝二	常盤台
財産区管理委員長	総務部	市瀬士朗	常盤台
相談役	市議会議員	村松まり子	八幡町
相談役	市議会議員	森本政人	新井
相談役	市議会議員	木下徳康	毛賀
特別推進員	消防団第5分団長	田中和明	代田
特別推進員	日赤奉仕団分団長	近藤英子	毛賀
特別推進員	民生児童委員協議会長	清水正則	明

総務部

【重点事項】

- ①グリーンベルトの保全
- ②鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ事業

【活動計画】

- ①グリーンベルトの保全検討 具体的な検討と保全作業のための組織づくり
- ②鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ事業
- ③松尾地区財産区有林の管理と小学生の遠足の支援
- ④区と連携したあいさつ・



八幡宮紅葉ライトアップ

みまもり運動の実施

- ⑤功労者表彰式・官公署職員歓迎会、新年祝賀式ほか地域行事の開催

地域振興部

【重点事項】

- ①道路・水路等の改良補修の促進
- ②内水排除対策の推進
- ③土地利用計画の策定
- ④組合未加入者の加入促進
- ⑤活力ある地域づくり

【活動計画】

- ①各区要望・地区重点路線、通学路安全対策について市・県への要望、市道18号線建設促進、国道256号歩道改良、県道新井伊那八幡停線「みさとや交差点」改良促進、国道151号滞解消対策

生活安全部

【重点事項】

- ①防火防犯思想の普及による住みよい安心安全なまちづくりの推進

【活動計画】

- ①防火対策事業 住宅用火災警報器普及促進、火災予防運動、講演会ほか
- ②防犯対策事業 防犯灯新設・維持、地域安全運動 防犯パトロールほか
- ③松尾地区地域安全大会の開催



地域安全大会(アトラクション)



雨水渠の視察



交通安全部

【重点事項】

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- ③ 飲酒運転の根絶
- ④ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑤ 自転車の安全利用の推進

【活動計画】

- ① 季節交通安全運動、啓発活動、交通安全教室、交通安全ミニ教室
- ② 交通規制・交通安全施設の設定及び修繕要望及び維持管理
- ③ その他 自主研修、第2ブロック合同事業への参加、祭事等交通警備の協力、交通安全教室への指導者派遣ほか



保育園での交通安全教室

環境衛生部

【重点事項】

- ① ごみの分別と出し方の徹底、廃棄物の減量、リサイクル
- ② 環境美化
- ③ 河川浄化
- ④ 公害防止

【活動計画】

- ① ごみ集積所・リサイクルステーション管理、3R推進事業、エコキャップ運動、指導者研修ほか
- ② ごみゼロ運動、全市一斉水辺等美化活動
- ③ 天竜川・毛賀沢川堤防美化、天竜川環境美化活動
- ④ 井戸水（一般飲料水）水質検査の斡旋、不法投棄防止対策活動



天竜川毛賀沢堤防美化活動

健康福祉部

【重点事項】

- ① 松尾地区のまちづくり重点目標と福祉健康の基本理念にある、地域に住まう全ての住民が、安心して健やかな生活が出来る環境と優しさのある地域社会づくりを目指して、

【活動計画】

- ① 地域福祉及び地域住民の健康の増進を図る。
- ② 地域における福祉健康活動を積極的に展開するため、研修会等の開催を通じて、資質の向上に取り組む。

公民館育成部

【重点事項】

◆公民館◆

- ① 住民交流の場である分館活動の後押し
- ② 松尾の地域課題や生活課題を学ぶ「松尾セミナー」の充実
- ③ 松尾地区の文化・体育・広報活動のさらなる振興
- ④ まちづくり委員会の中で公民館が果たす役割としての学習と実践
- ⑤ 各種団体との交流・連携・支援

◆育成会◆

- ① 子どもたちを健全に育てるための活動の場の提供
- ② あいさつ運動の推進（小学生を中心に）
- ③ 関係機関団体との連携・協力
- ④ 松尾少年スポーツクラブ

- ① ふれあいサロン、敬老福祉事業、見守り活動、ひとり暮らし高齢者ふれあい昼食会、高齢者料理教室、在宅介護者元氣回復事業、介護予防教室卒業者を対象としたフォローアップ事業、移送サービス事業ほか
- ② 健康講演会、各地区健康講座、研修会の実施ほか



健康教室（ストレッチ体操）

- ⑥ おわら風の盆招聘準備

等の育成、PTA活動・地区活動への協力

- ② 松尾の川の水中生物をつかまえよう、ニュースポーツ交流、モデルロケットをとばそう、おもしろ科学教室
- ③ あいさつ運動の推進、松ぼっくりの池の管理、「育成会便り」の発行ほか

※公民館の活動計画は本紙4・5面をご覧ください。

モデルロケットをとばそう

平成24年度 まちづくり委員会会計決算（概要）

収入の部		単位：万円	
項目	金額	説明	
地区の皆様からの会費	2,051	1戸年間6,000円	
パワーアップ地域交付金	992	飯田市から	
その他補助金等	1,033	広報配布委託金、ほっ湯アップル配分金ほか	
前年度繰越金	627		
基金繰入金	1	ピオトープ基金から5千円	
雑収入	87	交通警備謝礼、団体事務負担金、預金利子ほか	
収入合計	4,790		

支出の部		単位：万円	
項目	金額	説明	
本会総務費	1,358	役員報酬、駐車場借地料、小中学校支援ほか	
総務部	151	各種地域行事費、財産区管理費ほか	
地域振興部	426	文書配布交付金、各区助成金ほか	
生活安全部	195	防犯灯新設・維持、防犯パトロール経費ほか	
交通安全部	157	交通安全事業費、施設整備費ほか	
環境衛生部	295	ごみ集積所管理費、各区活動費ほか	
健康福祉部	308	ふれあいサロン、敬老福祉事業ほか	
公民館育成部	694	各種公民館事業費、育成会事業費ほか	
その他団体補助	503	文化体育振興会103、自主防災会58、消防団342	
元気の出る活動費	183	地域振興60、公民館80、やらまいか助成43	
特別事業費	103	ライトアップ事業	
支出合計	4,374		

項目ごとに1万円単位に四捨五入しているため、各項目の計と合計とは一致しない場合があります。
収入4,790万円－支出4,374万円＝416万円・・・次年度繰越金

松尾地区自主防災会 非常招集訓練



対策本部を確認する参加状況

5月28日松尾地区自主防災会による非常招集訓練が行われた。夜19時集中豪雨による災害が発生したとの想定で連絡網が回されると、

本部となった公民館ホールに役員らが続々と集合し担当に配備。マニュアルを見ながら迅速に対応を始めた。12地区それぞれの集会所でも区長らが参加され無線で本部設置状況を伝えるなど本番さながらの訓練となった。

およそ30分で参加人数69人のうち約7割の50人が集まった。自主防災会宮下会長は「対策本部としては充分機能する人数です。日頃から危機管理に努めていきましよう」と話し訓練は終了した。

松尾公民館事業「おわら風の盆」招聘



元禄15年頃、三日三晩歌舞音曲無礼講で町を練り歩いたことが「おわら風の盆」の始まりとされている。また、台風到来の時期に稲が風の被害に遭わないよう、豊作を祈願したことも祭りの由来となっている。毎年この祭りのために都会へ出た若者が戻ってくるのだそう。

公民館は変動する社会教育の中で、教育・文化の向上、人づくり、地域づくり等のために地域住民にとって最も身近な学びの場として、社会教育の推進に大きな役割を果たしている。公民館の社会教育活動の学習分野は多種であり、体育スポーツ・一般教養・家庭教育・市民意識等の分野の中84の講座があるが、この構成団体の中でダンスや舞踊等、踊りを行っている団体が意外と多くある。

毎年12月の「踊ってみよう会」と2月の文化祭「芸能発表会」の場で、各団体が稽古の成果を発表する機会があるが、来年度の公民館事業として、公民館では「踊ってみよう会」の発表に併せて「おわら風の盆」招聘準備

富山「おわら風の盆」を招聘することで当地区の活性化に結び付けることは目的であり結論的には、いったん松尾を単立していった若者達が再びこの地域に戻ってくる地域づくりの一助にしたいと思うところである。平成26年4月26日の実施に向かって今から準備の段階に入っている。

委員長 角田稜治筆

まちづくり委員会 公民館育成部

平成25年度 松尾公民館 各委員会の活動始まる

松尾公民館活動の目標

「地域に開かれ学びあう公民館」

- ・地域課題をともに学びあう
- ・地域の文化・体育振興、広報に努める
- ・地域に根ざした活動をめざす
- ・各事業を通じて地域の盛り上げを図りひいては地域の人材を育成する



H24総務企画委員会活動「まけるな農園」

活動方針

公民館は、憲法と教育基本法で定められた生涯の学びと教育を国民に保障する社会教育機関です。松尾公民館は長野県でも最初に設立された公民館の一つであり、飯田市の第1号公民館です。

区民運動会は昭和8年開始、成年式は昭和21年に始まり、進取の精神や、住みよい松尾・よりのよい住民自治の実現を目指して65年余、みんなで努力してまいりました。

また、まちづくり委員会組織の中で、公民館は学習や交流を通じての人づくり、地域資源を活かした実践活動を行っていくことで公民館としての「役割」を果たしていきます。

したがって、松尾公民館の活動をさらに発展させ、開かれた活動の推進とともに、分館のさらなる活性化により、地域に根ざした活動展開と充実を図りたいと思います。



平成二十五年松尾公民館総務企画委員長に就任致しました平澤です。

総務企画委員会は、今年度の公民館活動方針に基づき、社会教育の一端を担う立場から、事業を企画実行



総務企画委員長 平澤勇治

総務企画委員会

— 活動計画 —

- ・農業体験・食育講座「まけるな農園」
- ・公民館研修会
- ・親子木工教室

することにより、住民同士のつながり、地区の盛り上げをバックアップします。

一例を上げますと「まけるな農園」があります。この事業は、農業委員会、農協関係者の御協力を頂く中で、親子での野菜栽培、収穫野菜の調理を通じ、食育を学ぶ講座として高い評価を受けています。

分館活動の後押しとして、分館役員の意見交換の場を提供し、地区全体が一体感を持つて活性化出来るよう努めます。

また、今年度のまちづくり委員会の重点事項にもなっています「おわら風の盆」招聘準備に向け、関係各位を始め、区民各位のご理解とご協力を頂く中で、委員会として尽力致します。よろしくお願ひします。



体育委員長 齊藤好雄

区民の皆様におかれましては、年間を通して体育事業にご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

今年度もいよいよスポーツの季節となり、昨年同様



区民の皆様の健康と地域の活性化を目的に事業を進めてまいりますので相変わらぬご協力をお願いします。

公民館事業の中の特に体育事業に期待されているのは、単に勝敗や健康増進だけでなく、スポーツを通して人と人が目的のため協力し一つになること、それが日々の生活の中に活かされて松尾全体が一つになることだと感じています。

スポーツにはそれを可能にする力があります。

そんな素晴らしい事業に関わっていることに感謝し、委員長として頑張つていきたいと思ひます。

よりよい事業にするために、区民の皆様のご意見を頂きたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

体育委員会

— 活動計画 —

- ・公民館役員対象 ニュースポーツ講習会
- ・分館対抗 ニュースポーツ大会
- ・分館対抗マレットゴルフ大会
- ・松尾地区市民運動会
- ・松尾キンボール講習会
- ・他



文化委員長 丸山基治

文化委員会

— 活動計画 —

- ・親子映画鑑賞会
- ・いいだ 人形劇フェスタ2013
- ・松尾地区成人式
- ・年賀状展
- ・文化祭
- ・松尾踊ってみよう会

公民館文化委員会は「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに、夏は親子映画鑑賞会・人形劇フェスタ、冬は年賀状展・文化祭等、大きな行事に参加される皆さんをはじめ企画運営にあたるスタッフも一緒に楽しめる企画を考えたながら活動しています。地域の幅広い年代層の方々が「ともに参加し、学び、交流しあう」そんな場を提供しながらみずからも成長していければと考えています。

何か新しい企画を計画したい！マンネリに陥りやすい傾向を打破したい！と、考えてはみるもののなかなか良い智慧が浮かびません。地域の皆さんの智慧をお借りしながら進めていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

館長つらみ

こんにちはは角田です

公民館長を仰せつかって3期5年目に入りました。想像以上に大変な職務を実感しております。しかし、やりがいがありお引き受けして本当によかったと感じることもたくさんあります。館長となって多くの人と出会い、別れ、影響を受けた人も数多くいます。そんな中、私が私淑する先輩から頂いた心に刻んでいる言葉があります。

- 人間には4つの年齢期がある
●育てられる時期
●育てる時期
●退職してからの時期
●援助を受けてからの時期
●年を取ると5つの損失体験がある
●健康を失う
●経済的自立を失う
●人間関係を失う
●生きがいを失う

素直な気持ちいつまでも

「間」の大切さにおいては尊さを感じております。間合いや話の間など、人との間にも多くの「間」があります。「間」を大切にすることで自信を持ち、気遣いができ、思いやりが生まれてくるのだと思います。私も72歳となり損失体験期に入っておりますが、少しでも損失を克服できるように素直な心でユーモアを持ち、笑顔を抑やさず「間」を大切にしたい生き方をモットーに今後も邁進していきたいと思っております。

映画館 顔見てすぐに 割り引かれ ひがみ高齢者 サラリーマン川柳より

活力源は「わけもないよ」

公民館役員研修会 ～柄木田孝行さんを迎えて～



川柳も趣味なんだに。「万歩計 つけてみたいな 妻の口」

5月22日、松尾公民館で公民館役員と12地区の正副分館長・主事を対象に、松尾公民館役員研修会が行われ約50人が参加した。この研修会は総務企画委員会の主催で毎年行われている。今年も元鼎公民館長の柄木田孝行さんを招き講演会が行われた。テーマは『地域の活力源のための公民館』。参加者は公民館の重要性と生涯学習の理念について学んだ。

柄木田さんは最初に「今年の8月5日は何の日でしょう」と参加者に質問。全員が首をかしげていると、「なんと知らないとは！この日は私の誕生日。それも金婚式と傘寿(80歳の記念)を兼ねているのに。大げさに嘆いてみせる柄木田さんの姿に、出だしから会場は笑いと拍手の渦に包まれた。続けて「役員をすると健康になれるんだに。嘘だと思ふならこのグラフを見てみなんよ」と何枚も用意した手作り資料を披露。話の途中で趣味であるゲートボールを参加者に勧めるなど、次々と展開するユーモアあふれる柄木田さんの語りにより、参加者は楽しみながら、公民館役員として大切なことは何かを学んだ。

生きがいのベスト条件

- よ...喜び楽しく人のために働く
...意欲的に、いやいやはダメ
...仲間と仲良く
...目標に挑戦
...継続は力なり
...わくわく・ドキドキ

「役員を辞めちゃダメだに。長生きできるんだで」と柄木田流の激励を参加者に贈り、最後に生涯学習の理念であり生きがいのベスト条件でもある『わけもないよ』の言葉を伝授し、柄木田さんの抱腹絶倒の講演会は終了した。

平成25年度 公民館役員名簿

Table with 7 columns: 分館長, 副分館長, 分館主事, 文化委員, 体育委員, 広報委員. Lists names of staff members across various departments.

館長委嘱

Table with 4 columns: 文化, 体育, 広報, 総務企画. Lists names of staff members under their respective categories.

スポーツ推進委員 田中 利治 山中 由美 竹下 広志 三石 陽次 ◎委員長 ○副委員長

公民館の主な行事予定 (7月～9月)

- 【7月】 6日(土) 親子映画鑑賞会 ラフティング 体験教室
【8月】 4日(日) 親子木工教室
6日(火)～11日(日) いただ人形劇フェスタ 2013
【9月】 25日(日) 分館対抗 マレットゴルフ大会
まけるな農園



松尾図書館

(公民館2階)
開館日 水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時
本のリクエストも受けつけています。

ご意見募集

まつお新聞に関してご意見をお寄せください。

TEL 221-0091

松尾の人口
男子 6,116人
女子 6,900人
計 13,016人
世帯数 4,817世帯
5月末現在

広報委員会

活動計画

- ・まつお新聞223号発行
・まつお新聞224号発行
・まつお新聞225号発行
・まつお新聞226号発行



側からの発信や松尾地区内への情報提供、問題提起をはじめ、さまざまな情報を発信していきます。松尾公民館活動の目標にもある「地域に開かれ学びあう公民館」を目指し、共に学びあい、地域を盛り上げていきたいと思います。親しみやすい新聞、みんなに読んでもらえる新聞づくりに取り組みしていきたいと思っております。

広報委員長 松原倫子
25年度松尾公民館広報委員会は、公民館委嘱4人、分館選出12人計16人でスタートしました。主な活動として年4回まつお新聞を発行しています。まちづくりに関する情報をお持ちの方は松尾公民館まで一報をお願いいたします。また地区の行事などに首から委員証を下げ、カメラを持っていく広報委員がお邪魔することがあります。その際には気軽に声をかけてください。
なお毎年2月に行われる松尾地区文化祭では過去60年分のまつお新聞を展示しておりますのでぜひお出かけください。

やまびこマーチ チェックポイントで婦人会大活躍!!

今年で27回目となるやまびこマーチが、4月27日、28日の2日間にわたって行われた。今年の大テーマは『花と緑と陽光の中を、手づくりのおむすびを持って家族で歩こう』で、2日間に延べ4169人が参加した。初夏を思わせる爽やかな風の中、参加者たちは、元気に歩いた。

1日目の市内コースは4種類あり、松尾公民館は、20キロコースと、40キロコースのチェックポイントであった。この日、松尾公民館のチェックポイントを通じたのは382人。ここでは、松尾婦人会の会員が、毎年参加者に湯茶やお漬物で温かなおもてなしをしている。

この日、婦人会の10人の会員が、朝9時半から10時のキウウリを漬けるなど湯茶の準備をした。また、各自持ち寄った自家製の梅漬、ヨーグルト、凍み豆腐の煮物、ゼリーなど手づくりのおもてなしに、参加者は舌鼓をうった。温かいお茶や冷たいお茶、好みのお茶を手にしなが、婦人会員とホッと一息、会話も弾む。婦人会会長の平栗利子さんは「毎年参加されて、なじみになられた方もいる。お土産にきれいな折り鶴をいただいた。松尾の休憩所が一番いい、おいしいと言っていた。第1回目から取り組んできた。当初は朝4時起きをして準備をした苦労もあったが、毎年1回楽しみに来てくれる参加者の笑顔を見るのが喜びとなっている」と語った。

運動会や文化祭も、婦人会のきめ細やかな支えがあったり成り立っている。

久井区恒例の「地域いきいきセミナー」が5月18日に催され、今年も名古屋方面を訪れた。

小学生6人を含む参加者30人は、大型バスで最初の目的地「名古屋港防災センター」へ。東北地方太平洋沖地震などの揺れを再現した地震体験室で震度7を体験、適切な初期行動を学んだ。また、火災で煙が充満した状況から避難する疑似体験をしたり、昭和34年当時を再現した部屋で、伊勢湾台風のリアルな3D映像を見たりした。

その後は名古屋港ガーデン埠頭で2時間近くの自由時間。快晴の下、公園のベンチで手弁当を広げるグループ、展望台に登る人、博物館や水族館を見る人、各自思い思いに過ごした。

続いて愛知ヤクルト工場。商品説明を受け、ヤクルト1本を試飲した後、容器を作る工程や、液を詰めて包装する生産ラインを見学した。日頃愛飲している人や、実験器具に興味を持った子供たちから次々と質問が飛び出した。中には「ヤクルトの創始者・代田稔が飯田出身」と知って驚く人もいた。

文化部長の北見安弘さんは「巨大地震の発生が懸念される現在、体験しておいて無駄にはならないし、健康面への関心が高いことからこの企画を計画した。何か一つでもその人なりに得るものがあり、リフレッシュしてもらえればいい」と話していた。



3D映像で伊勢湾台風をバーチャル体験

尾公民館は、20キロコースと、40キロコースのチェックポイントであった。この日、松尾公民館のチェックポイントを通じたのは382人。ここでは、松尾婦人会の会員が、毎年参加者に湯茶やお漬物で温かなおもてなしをしている。

この日、婦人会の10人の会員が、朝9時半から10時のキウウリを漬けるなど湯茶の準備をした。また、各自持ち寄った自家製の梅漬、ヨーグルト、凍み豆腐の煮物、ゼリーなど手づくりのおもてなしに、参加者は舌鼓をうった。温かいお茶や冷たいお茶、好みのお茶を手にしなが、婦人会員とホッと一息、会話も弾む。婦人会会長の平栗利子さんは「毎年参加されて、なじみになられた方もいる。お土産にきれいな折り鶴をいただいた。松尾の休憩所が一番いい、おいしいと言っていた。第1回目から取り組んできた。当初は朝4時起きをして準備をした苦労もあったが、毎年1回楽しみに来てくれる参加者の笑顔を見るのが喜びとなっている」と語った。

運動会や文化祭も、婦人会のきめ細やかな支えがあったり成り立っている。

工場。商品説明を受け、ヤクルト1本を試飲した後、容器を作る工程や、液を詰めて包装する生産ラインを見学した。日頃愛飲している人や、実験器具に興味を持った子供たちから次々と質問が飛び出した。中には「ヤクルトの創始者・代田稔が飯田出身」と知って驚く人もいた。

文化部長の北見安弘さんは「巨大地震の発生が懸念される現在、体験しておいて無駄にはならないし、健康面への関心が高いことからこの企画を計画した。何か一つでもその人なりに得るものがあり、リフレッシュしてもらえればいい」と話していた。

被災地への想いさまざま



児童代表10人と金田教諭 「写真提供 南信州新聞社」

東日本大震災から2年経った3月11日、松尾小学校4年生が育てた野菜の売上金6万6050円を義援金として飯田市に寄託した。この内容は一般の「皆さんの力になりたい」と考えた学校目標の『まけるな』の名前を冠したジャガイモと大根を学校菜園で栽培し、参観日に保護者にチャリティー販売をした。その売上金は義援金として代表の児童10人と金田信夫教諭によつて飯田市役所危機管理・交通安全対策室の吉村啓室長に手渡され、日本赤十字を通して被災地に届けられる。

児童らは、年度が変わり5年生になった今でも、その想いを引き続き被災地に届けていきたいと考えている。

東日本大震災から2年経った3月11日、松尾小学校4年生が育てた野菜の売上金6万6050円を義援金として飯田市に寄託した。この内容は一般の「皆さんの力になりたい」と考えた学校目標の『まけるな』の名前を冠したジャガイモと大根を学校菜園で栽培し、参観日に保護者にチャリティー販売をした。その売上金は義援金として代表の児童10人と金田信夫教諭によつて飯田市役所危機管理・交通安全対策室の吉村啓室長に手渡され、日本赤十字を通して被災地に届けられる。

児童らは、年度が変わり5年生になった今でも、その想いを引き続き被災地に届けていきたいと考えている。

新聞と地元紙にも取り上げられたが、改めて紹介する。当時4年生だった児童133人は、3年生の時から「東北の皆さんの力になりたい」と考えた学校目標の『まけるな』の名前を冠したジャガイモと大根を学校菜園で栽培し、参観日に保護者にチャリティー販売をした。その売上金は義援金として代表の児童10人と金田信夫教諭によつて飯田市役所危機管理・交通安全対策室の吉村啓室長に手渡され、日本赤十字を通して被災地に届けられる。

児童らは、年度が変わり5年生になった今でも、その想いを引き続き被災地に届けていきたいと考えている。



狙いを定めて

梅雨入りし蒸し暑い天気の中、選手達は、ホールインワンを好プレーが出ると歓声をあげ、一打ごとに喜一憂し、大変盛りあがった大会となった。

ふれあいひろば

5月12日松尾小学校校体育館にて分館役員を対象にニュースポーツ講習会が行われた。今後キンボールを各分館に体験してもらい、大会へつなげていく予定。

*土俵開き
5月14日松尾小学校恒例の土俵開きが、開催された。塩まきや模範演技、熱い取草取りを行った。

*まけるな農園
6月1日農業体験食育講座「まけるな農園」が行われた。親子17人が参加し、サツマイモ、カボチャの苗の植えつけ、ポップコーンの種まき、ニンジン畑の周りの草取りを行った。



温かなおもてなしに笑顔がこぼれる

組が行われた。

*ツアーオブジャパン
5月22日国内最大級の自転車ロードレース「ツアーオブ・ジャパン」南信州ステージが五月晴れの下開催された。ステージ優勝はイタリアのピエールパオロ・デ・ネグリ氏。

代田区 《歩こう会》 丘の上 飯田動物園へ

毎年恒例の代田区主催の歩こう会が5月3日開催された。今年も開園60周年を迎える「飯田動物園」へ代田区民100人あまりが参加した。この日は好天に恵まれ、爽やかな新緑の中歩くことができた。

代田公民館での出発式では、下條啓市区長より、楽しみながら歩く秘訣として、歩幅を決めて歩く「スローアンドクイック」と、歩きながら出来る美容効果の高い「顔の体操」等を教えてもらい、参加者は健康と美容を意識しながら片道約4キロを楽しんだ。

昼前に四季の広場へ到着。



豆汽車に乗って行ってきます!

清水区 好プレー続出に沸く

6月2日清水区恒例の伍組対抗マレットゴルフ大会が、松尾マレットゴルフ場にて開催された。

開会式で、恩田政雄区長より「今日は老若男女、新しく入区された方など、普段あまりおつきあいのない方々と、楽しくプレーして親睦を深めてください」とあいさつがあった。100人の選手が団体戦や個人戦にエントリーして、27ホールで競技した。代田総分館長は「今までは18ホールでの競技だったが、『27ホールでやってみよう』との意見があり、今回は27ホールで試験的に実施することになった」と話し、競技の結果を見守った。

梅雨入りし蒸し暑い天気の中、選手達は、ホールインワンを好プレーが出ると歓声をあげ、一打ごとに喜一憂し、大変盛りあがった大会となった。